

# 松江堀川水環境協議会のステップアップ

第1回協議会資料 平成28年5月24日時点

平成27年に協議会を立ち上げ、1年間で対外的に想定以上の成果はあげた。反面、対外的に注目され、さらなるステップアップが必要。

## 【当面の課題】

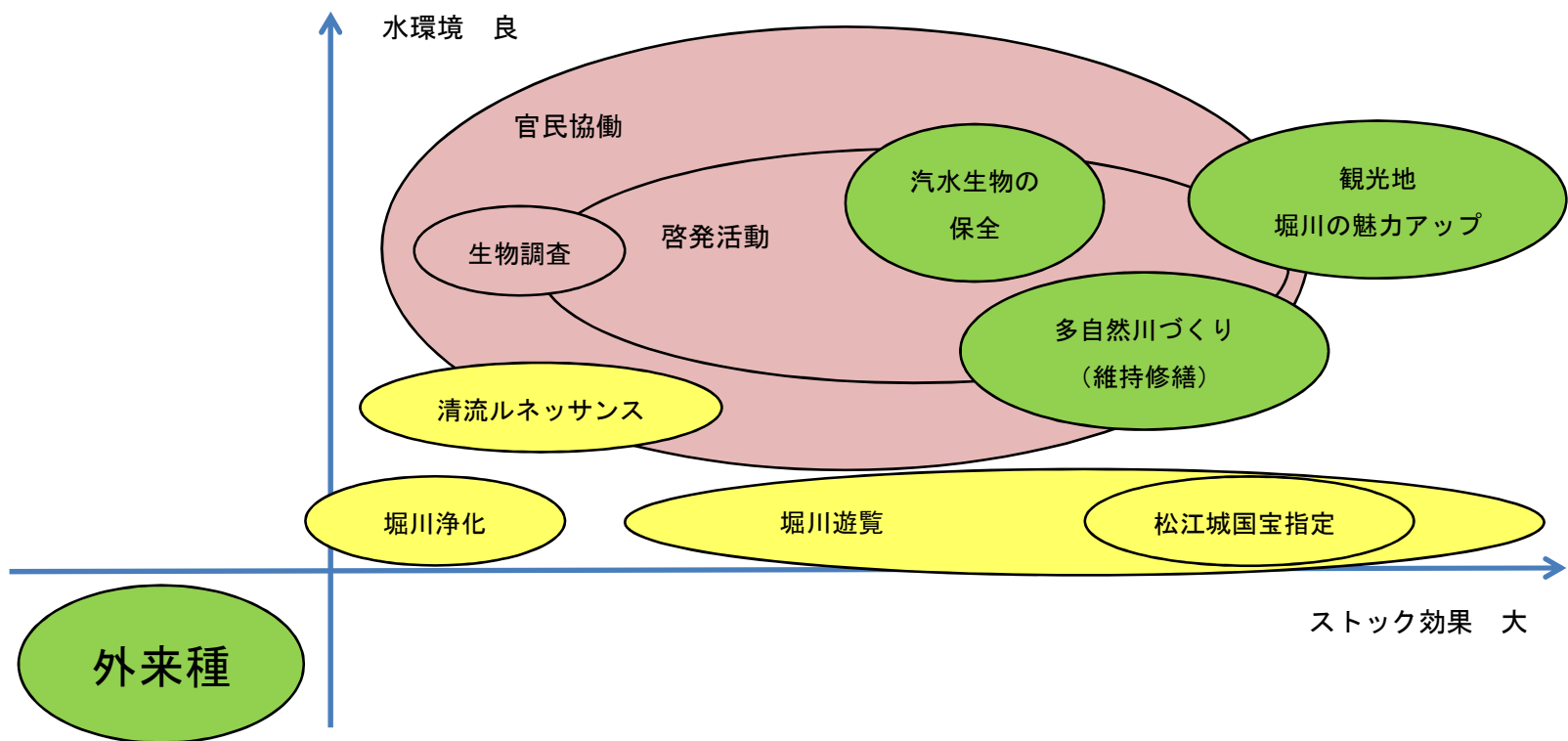
- 協議会の長期継続
- 民の参画
- 国・県・市の連携強化
- 外来種（アカミミガメ等）対策  
※松江城山周辺が生息地化、観光客等のエサやり、カメがカワイイという人もいる

ゼロ予算では限界



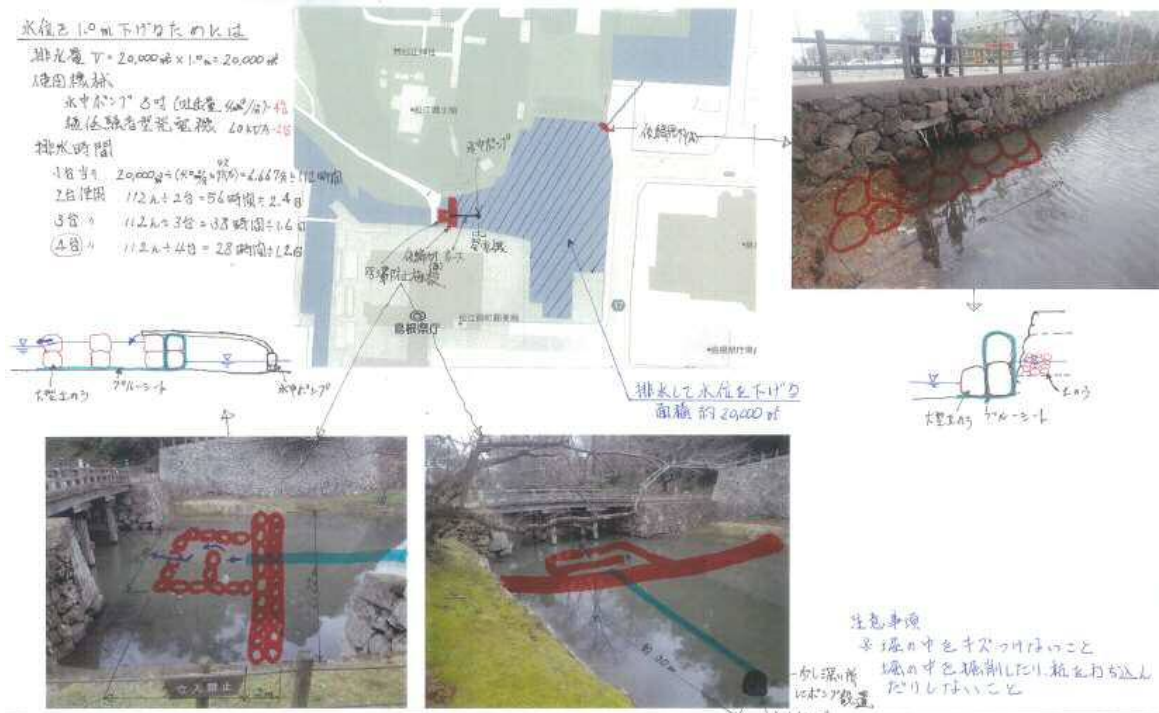
- 財源を運営できる協議会
  - 会計処理規則等の確立
- ↓
- 国事業、交付金事業等の導入  
例) 国事業：アカミミガメ対策推進プロジェクト  
交付金：生物多様性保全推進支援事業（環境省）

## 【活動目標】

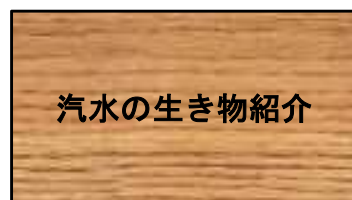
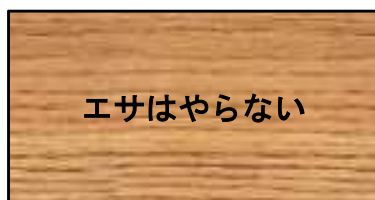


## 【今後の活動】

- ① 生き物調査（継続）
- ② 啓発活動（継続）  
便り、市報、HP等による周知の強化
- ③ 外来種対策  
(案1) 内堀川のクリーン活動（事業費：600万円）  
生物調査、川底の清掃も兼ねている。



(案2) 啓発等のサイン（景観に考慮）



※先進県の事例  
兵庫県明石市、篠山市

- ・明石市は、交付金事業で、アカミミガメ対策の実績を作った。
- ・その結果、H28より国事業（アカミミPJ）のモデル事業の対象となった。